

科目名称	社会福祉
授業コード	AI201
英語名称	Social Welfare
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	前嶋 深雪
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	○本科目は保育士の職務に係る必要な知識としての社会福祉の理解という内容を持つ。保育士は児童福祉法に位置づけられた福祉の国家資格であり、保育現場においては社会福祉についての理解が必須となる。本授業では、現代における社会福祉について、知識及び考え方、歴史、法律、福祉サービス現場などのさまざまな視点から考察し、理解することを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	○精神保健福祉士（PSW）の国家資格を有し、10年にわたりソーシャルワーク（スクールソーシャルワーカー）の職務にたずさわってきた実務経験を活かし、保育士として必要な社会福祉の知識及び福祉サービス現場の実際について、学びのポイントを提示していく。
到達目標	○到達目標は次の2点となる。 1) 社会福祉の歴史の変遷を踏まえ、現代社会における社会福祉の意義について学び、保育士として必要な社会福祉について理解する。 2) 社会福祉の制度や実施体系等を学び、それらを実践するための「相談援助」の基礎を修得し、社会福祉の動向と課題について理解する。 これらを到達目標とすることにより、学科のディプロマポリシーに掲げる「豊かな教養と倫理観を身に付けること」をはじめとして、【知識・技能】【使命感・思考力】【人間力・指導力】【創造的な保育や教育】に関する資質・能力を有する教育者となることを目指す。
計画・内容	第1回 イン트로ダクション 社会福祉とは？ 第2回 福祉の国家資格と歴史的経緯 4つの福祉資格の必要性 第3回 社会福祉の基礎概念 社会福祉の用語と理解 第4回 社会福祉の法律と制度 社会福祉の歴史 第5回 社会福祉の法律と制度 社会福祉の種類 第6回 地域の社会福祉 社会福祉協議会の役割 第7回 福祉の相談窓口と役割 相談援助とは？ 第8回 ソーシャルワークと多職種連携 リハビリ職（PT・OT・ST）の理解 第9回 障害と福祉 支援制度と手帳 第10回 障害と福祉 生活支援と就労 第11回 貧困と福祉 困窮者支援・生活保護

計画・内容	<p>第12回 若者と福祉 不登校・ひきこもり</p> <p>第13回 医療と福祉 地域連携・MSW（メディカルソーシャルワーカー）</p> <p>第14回 高齢と福祉 保険制度（介護保険）・包括支援センター</p> <p>第15回 まとめ 理解度の確認：まとめ思考テスト（記述形式）</p>
授業の進め方	<p>○各回テーマが異なるため、各回の授業目標と授業内で提示する設問について説明する時間をとる。各回のテーマごとに異なるメンバーで話し合いの時間をもち、チームで考える時間と全体で共有しながら理解を深める時間を配分しながら授業を展開していく。また、各回の授業の最後に、ふりかえりのコメントシートを提出する。</p>
能動的な学びの実施	<p>○学生どうしで考えの交流を行い、一つの課題について合意形成・課題解決をする時間をもち（チームで話し合うアクティブラーニングの形式を導入）。また、授業ごとにコメントシートに「新しい発見」を記入し、ポートフォリオとしてふりかえり、学修の深まりを実感できるようにする。</p>
授業時間外の学修	<p>○各回テーマが異なるため、授業終了後の復習として、授業内容をまとめておくこと</p> <p>○授業で配布する資料は、授業時にすべて読むこと・理解することが難しいため、授業後にしっかりと読み、理解を深めること</p> <p>○各回テーマに係る内容について、新聞やニュースなどの記事に注意を向け、情報を集めておくこと</p> <p>15回で約60時間相当の予習及び復習の時間をもちこと</p>
教科書・参考書	<p>教科書：なし（授業時に資料を配布）</p> <p>参考書：吉田真理著『生活事例からはじめる 新版 社会福祉』青鞥社（2008）</p>
成績評価方法と基準	<p>○授業内のチームでの話し合いへの参加とコメントシート30%、調べ課題及び発表30%、まとめ思考テスト（理解度の確認）40%により総合的に評価する</p>
課題等に対するフィードバック	<p>○コメントシートでのふりかえりを授業の最初に紹介し、疑問や質問から考えを深めていく時間をもち。</p>
オフィスアワー	<p>○CampusSquareを参照</p>
留意事項	<p>○本科目は、保育士資格取得のための必修科目、保育実習（施設）を履修するための基準科目としての位置づけとなる。</p> <p>○考えを応答する時間や思考のアウトプットの多い授業となるため、体調やぐあいが悪いと十分な学びができなくなるので、健康に留意して授業に臨むこと。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：Zoomによるオンライン授業にて実施する。</p> <p>成績評価方法と基準：Zoom受講及びコメントシート提出30%と課題提出30%、まとめ確認テスト40%で評価する。</p>